

2022年3月期 決算補足説明資料

株式会社インプレスホールディングス

2022年5月12日

免責事項

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

2022年3月期業績

2022年3月期業績ハイライト

- 連結売上高は14,778百万円（前期比+6.7%/+928百万円）、7期連続増収/5期連続の経常増益
- 約210百万円の投資（イカロス出版の取得費用と連結、ABW※投資等）を吸収し、営業・経常利益は若干の増益。当期純利益は、負ののれんの計上等で875百万円（前期比+30%/+199百万円）の増益。
- コロナ禍の巣ごもり需要は一巡しつつあるものの、出版は大型ムック刊行で増収、デジタル/ターゲット広告・イベント収入は好調を維持。電子書店の大型キャンペーンによる電子出版の増収も業績を後押し。
- 一方、電子コミックプラットフォームは売上計上方法の変更などで大きく減収（前期比▲19%）。
- イカロス出版の子会社化により、取得費用で70百万円の営業費用が発生したものの、負ののれんの発生で特別利益187百万円を計上。イカロス出版は下半期より業績を取り込んでおり、売上で468百万円の寄与も、77百万円の営業損失を計上。

※ABW（Activity Based Workingの略）：社員が自律的に業務内容等に合わせ、場所や時間を選択する新しい働き方

2022年3月期連結業績

単位：百万円

	21/03期	22/03期(当期)		
	実績	実績	前期比	
売上高	13,850	14,778	+6.7%	+928
営業利益	822	848	+3.2%	+26
経常利益	931	941	+1.1%	+10
当期純利益	676	875	+29.5%	+199

※「収益認識に関する会計基準」等を22/03期第1四半期の期首から適用。

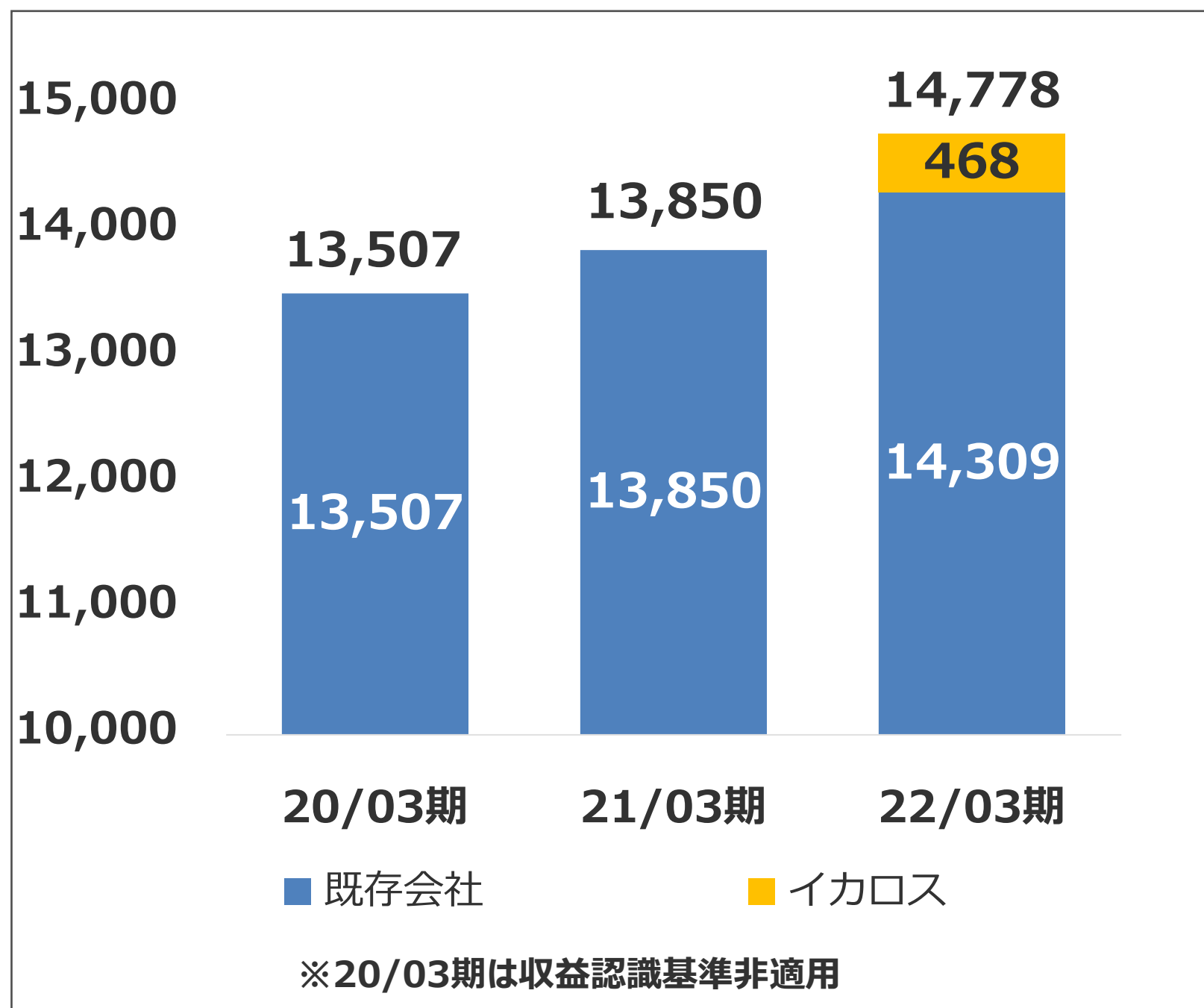
21/03月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で、遡及適用前と比べて、売上高は199百万円減少、営業利益、経常利益は各14百万円減少。

※イカロス出版の子会社化により、負ののれんの発生で特別利益187百万円を計上

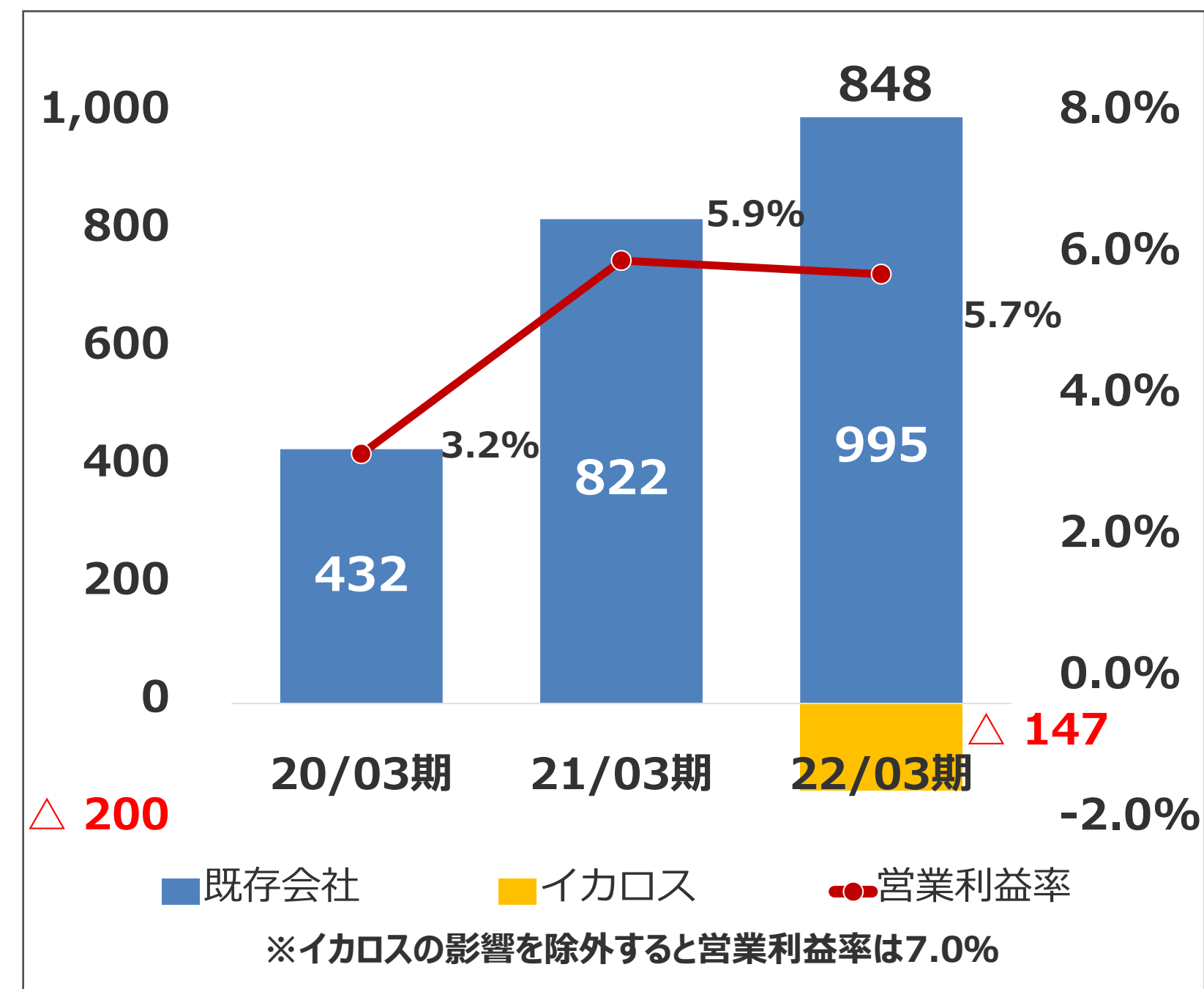
連結業績動向サマリー

単位：百万円

■売上高

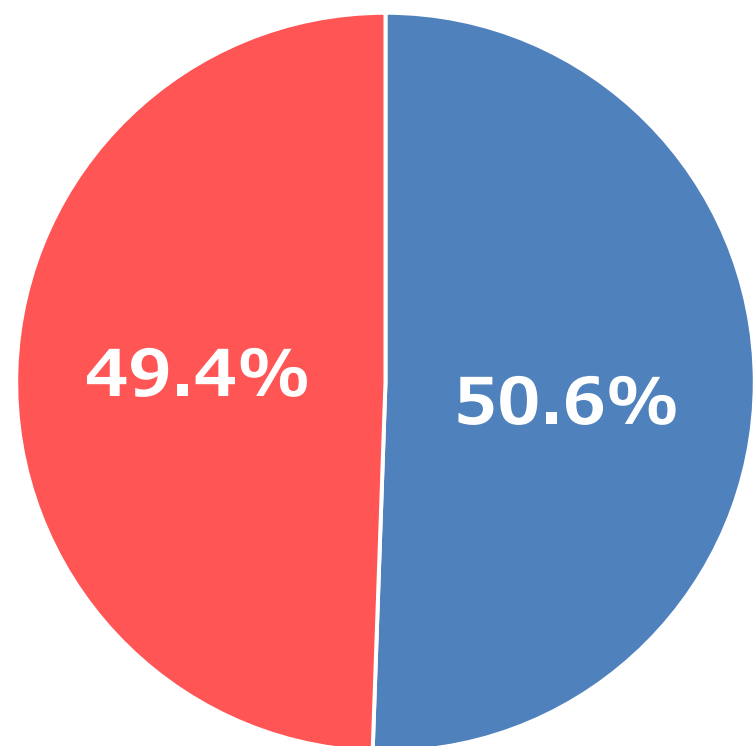


■営業利益・営業利益率

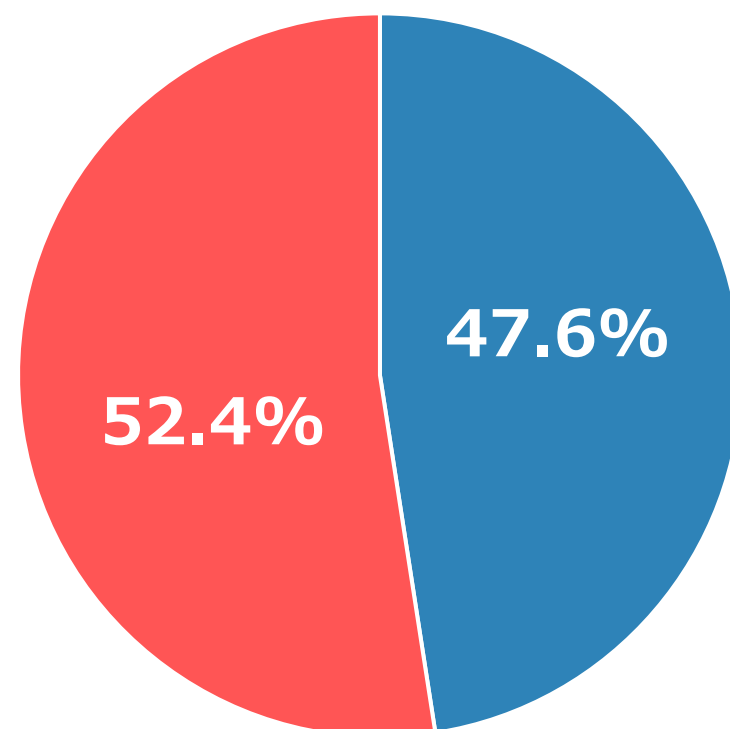


連結業績動向サマリー：事業ポートフォリオの構造転換

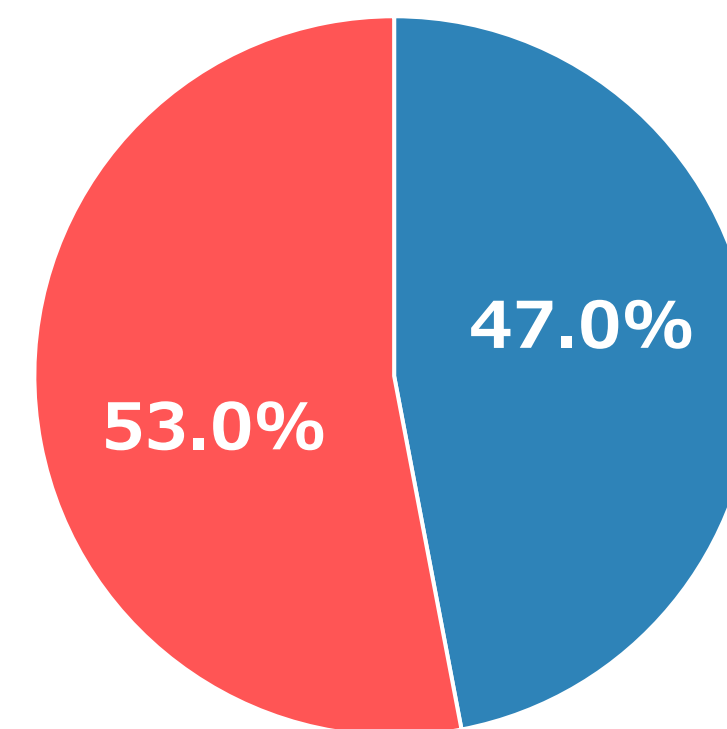
20/03期（収益認識非適用）



21/03期



22/03期



イカロス含む構成比
※除外すると出版（紙）の割合45.5%



出版（紙）事業



出版（紙）以外の事業（電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア、ソリューション、プラットフォーム事業）

22/03期_営業利益の増減要因

単位：百万円

22/03期営業利益

848

投資による利益減

- イカロス取得費用70M
- ABW投資65M
- イカロス営業損失77M

▲212

販管費減による利益増

- 電子出版・ネット/ターゲットメディア等の売上割合の向上（粗利率+0.2P）

+31

粗利率向上による利益増

- 電子書店の大型キャンペーン
- 大型ムック刊行
- デジタル・ターゲット広告
イベント好調

+25

増収による利益増

+181

21/03期営業利益

822

848

822

+26

※イカロス出版連結の影響は投資に含めており、その他の項目の増減額からは除外しております。

事業区分・セグメント別業績概要

2022年3月期 事業区分別売上高

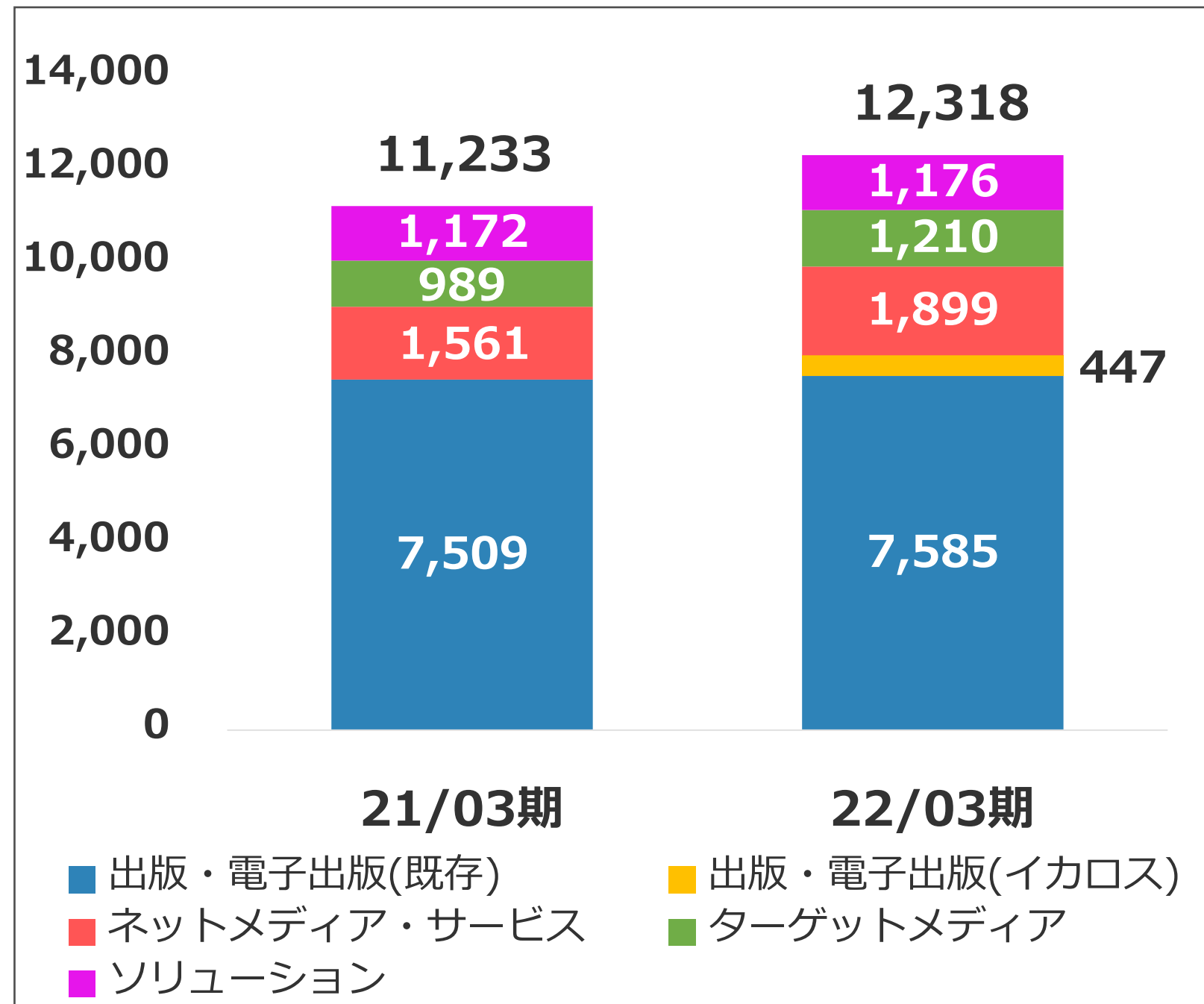
単位：百万円

事業区分	21/03期	22/03期(当期)		
	実績	実績	前期比	
コンテンツ事業	11,233	12,318	+9.7%	+1,085
出版・電子出版	7,509	8,032	+7.0%	+522
ネットメディア・サービス	1,561	1,899	+21.7%	+338
ターゲットメディア	989	1,210	+22.3%	+220
ソリューション	1,172	1,176	+0.3%	+3
プラットフォーム事業	2,617	2,460	▲6.0%	▲157
合計	13,850	14,778	+6.7%	+928

22/03期_事業区分別売上高：コンテンツ事業

単位：百万円

■コンテンツ事業売上高



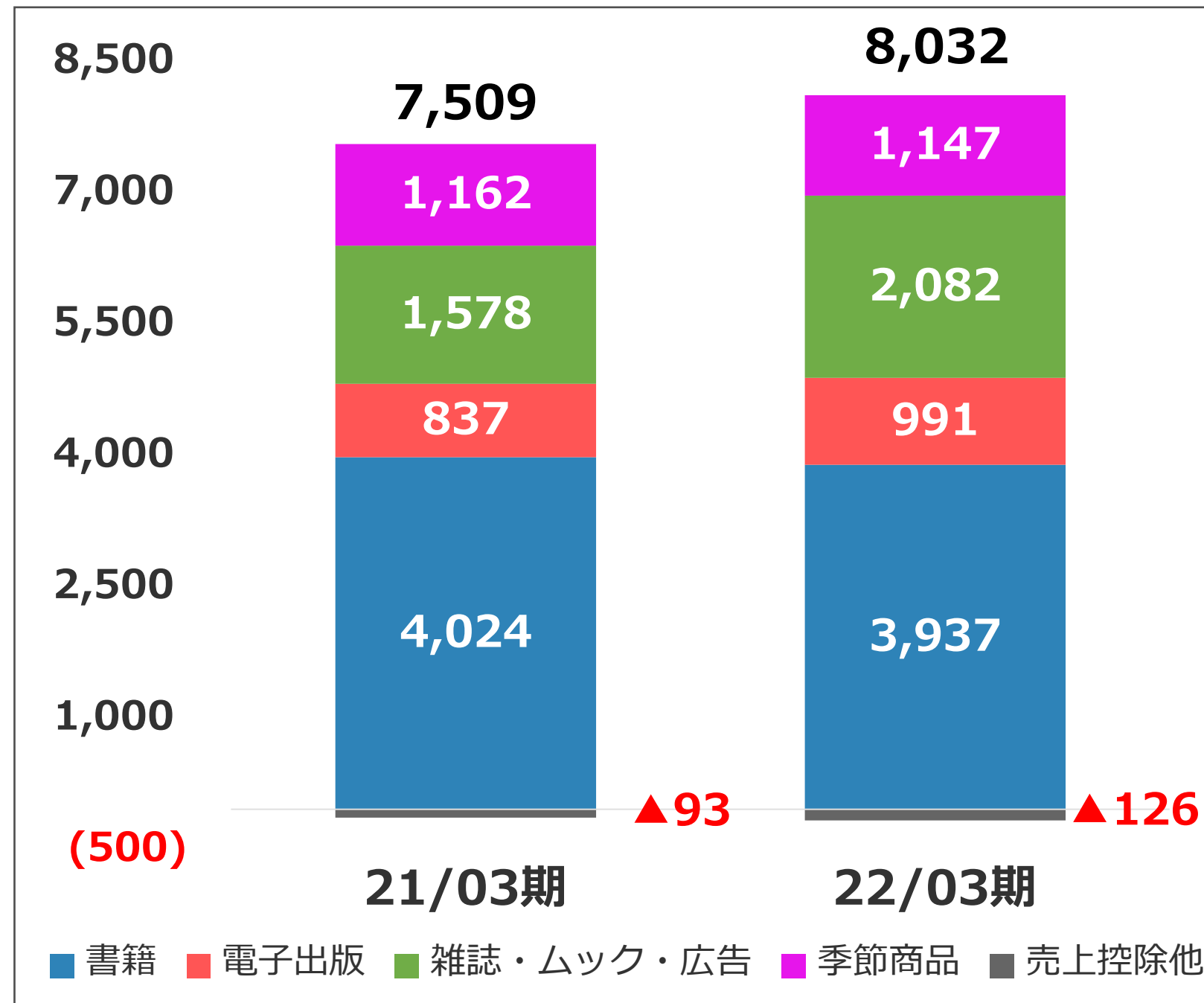
コンテンツ事業：+10%（+1,085M）の大幅増収 ※全区分で増収

- 出版・電子出版：+7%（+522M）の増収
イカロス出版連結で+447M、電子書店の大型キャンペーン等により電子出版の販売が増加のほか、音楽セグメントの大型ムックも貢献し、既存事業も+1%の増収
- ネットメディア：+22%（+338M）の増収
ITセグメントで、主力のImpress Watchのデジタル広告が好調を継続、音楽セグメントの新規メディア堅調
- ターゲットメディア：+22%（+220M）の増収
ITセグメントで、ターゲット広告は好調を維持、イベント収入も増収

22/03期_事業区分別売上高：コンテンツ事業_出版・電子出版

単位：百万円

■コンテンツ事業：出版・電子出版売上高



出版・電子出版：+7%（+522M）の増収

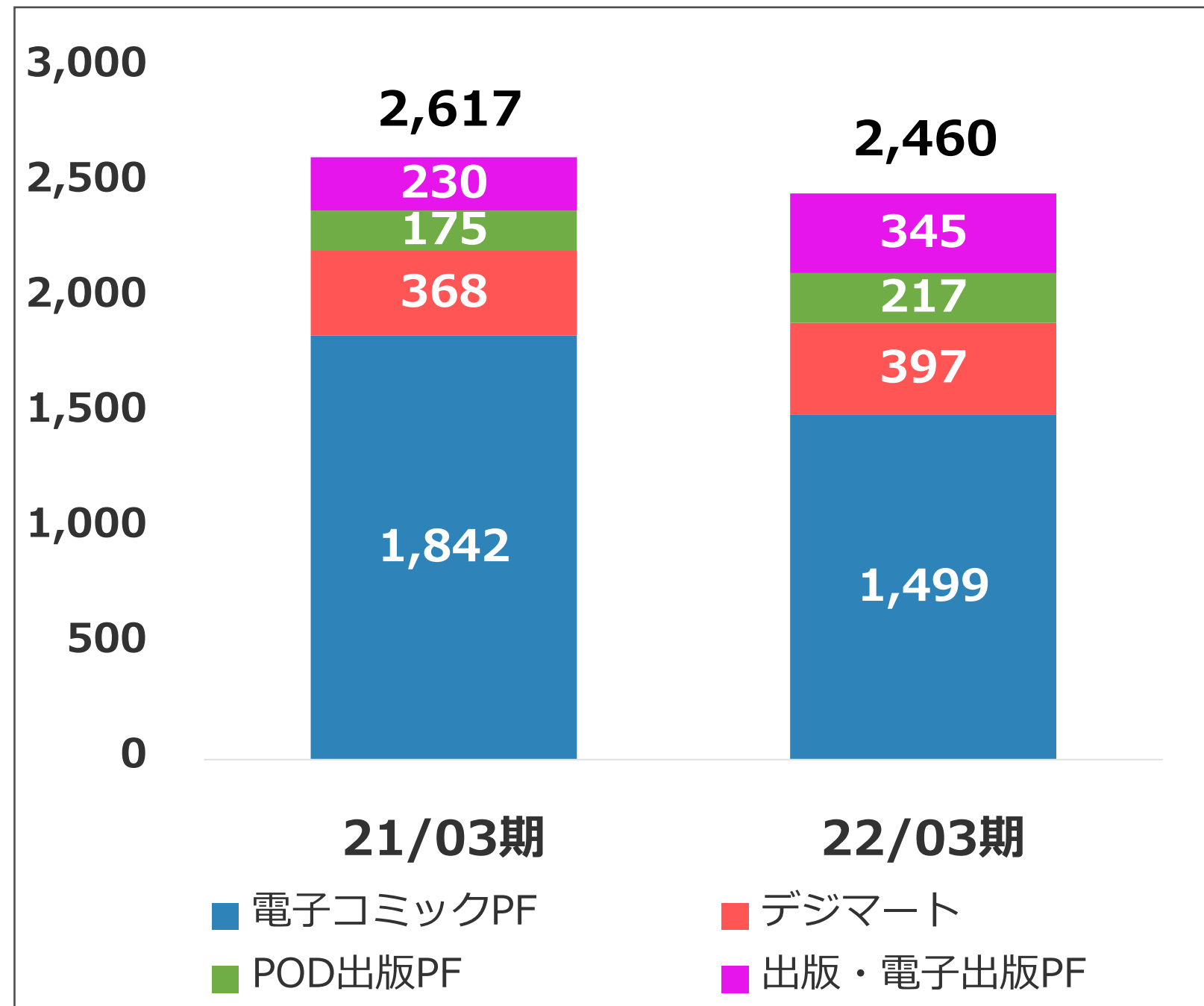
※うち、イカロス出版連結の影響+447M

- 書籍：▲2%（▲87M）の減収
巣ごもり需要の一巡等による出荷の減少
- 電子出版：+18%（+153M）の大幅増収
電子書店の大型キャンペーン等により好調維持
- 雑誌・ムック・広告：+32%（+504M）の増収
イカロス出版連結の影響+406M、
音楽セグメントの大型ムックの刊行が増収に寄与
- 季節商品：▲1%（▲14M）の減収
年賀状の製造規模縮小による出荷減

22/03期_事業区分別売上高：プラットフォーム事業

単位：百万円

■プラットフォーム事業売上高



プラットフォーム事業：▲6%（▲157M） 電子コミックPFが契約変更等で大きく減収

- 電子コミックPF：▲19%（▲342M）の減収
契約変更による売上計上方法の変更などで大きく減収、海賊版サイトの影響も懸念事項
- デジマート：+8%（+28M）の増収
楽器店からの決済サービス収入が増加
- POD出版PF：+24%（+41M）の増収
ユーザー数と出版点数が好調に推移
- 出版・電子出版PF：+50%（+114M）の増収
パートナー出版社の増加により規模が拡大

22/03期_事業区分別売上高の増減サマリー

単位：百万円

22/03期売上高

14,778

14,778

プラットフォーム事業他

- 電子コミックPFの契約変更による計上方法の変更などによる減収

▲ 153

ターゲットメディア

- ターゲット広告、イベント収入が好調持続

+ 220

ネットメディア・サービス

- Impress Watch好調持続、音楽セグメントの新規サービス堅調

+ 338

出版・電子出版

- イカロス出版連結で+447M、その他電子書店の大型キャンペーン、大型ムック刊行

+ 522

+ 928

21/03期売上高

13,850

13,850

2022年3月期 セグメント別売上高・セグメント利益

単位：百万円

セグメント区分	売上高		セグメント利益	
	金額	前期比	金額	前期比
IT	6,654	+9.0%	1,144	+391
音楽	1,957	+11.0%	114	+89
デザイン	1,057	+0.2%	▲14	▲96
山岳・自然	1,821	+0.8%	51	▲3
航空・鉄道	830	+132.9%	▲105	▲124
モバイルサービス	1,699	▲18.5%	308	▲66
その他	929	+8.0%	10	+36
全社 + 消去	▲172	▲5.5%	▲659	▲201
合計	14,778	+6.7%	848	+26

イカロス出版の株式取得に伴う影響について

■ 当期連結決算における取扱い

- 第2四半期末にB/S連結を開始
- 損益は、21/10～22/03までの6か月の業績を連結

■ 事業セグメントの取扱い

- イカロス出版の子会社化に伴い、新規の事業セグメント「航空・鉄道」を新設
- 「航空・鉄道」はイカロス出版と天夢人で構成

■ 連結業績への影響について

□ 連結開始時に発生した影響

- 取得費用（営業費用） ⇒ 70百万円
- 負ののれんの発生益（特別利益） ⇒ 187百万円

□ 当期の業績

- 売上高 ⇒ 468百万円
- 営業利益 ⇒ ▲77百万円（オフィス移転費用等20Mを含む）

2023年3月期業績予想

2023年3月期連結業績予想

不透明な事業環境も、投資を進めながら、増収・増益基調の維持を目指す 単位：百万円

	22/03期	23/03期		
	実績	予想	前期比	
売上高	14,778	15,900	+8%	+1,122
営業利益	848	860	+1%	+12
経常利益	941	960	+2%	+19
当期純利益	875	750	▲14%	▲125
営業利益率	5.7%	5.4%		▲0.3P
出版（紙）売上高	6,946	7,810		+864
※同構成比	47.0%	49.1%		+2.1%

※23/03期の営業利益は、用紙・印刷等の原材料費の高騰で1億、事業開発投資で1億、合計2億規模の費用の増加を織り込んだ計画値。

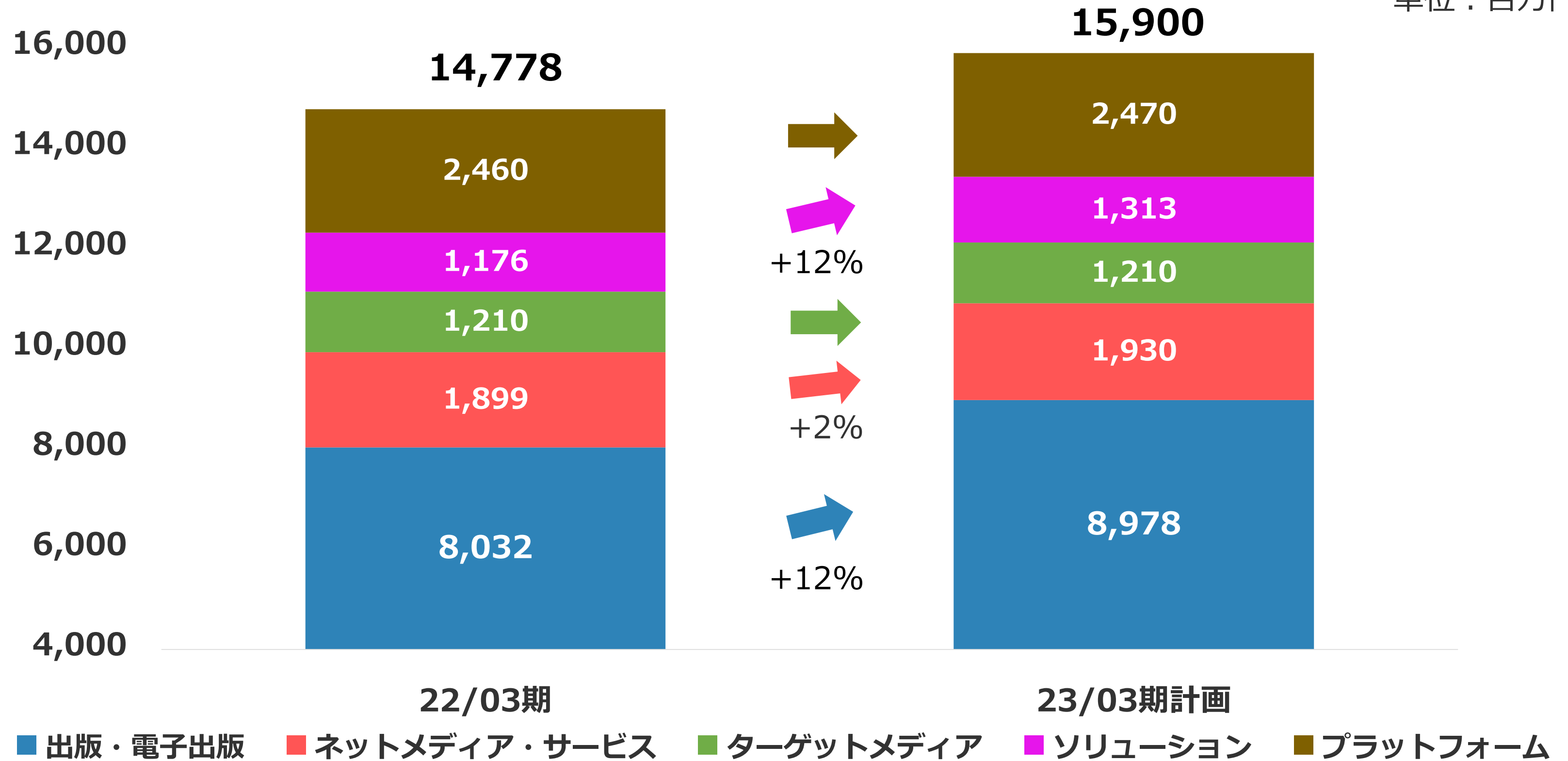
2023年3月期配当予想

	22/03期	23/03期
	実績	予想
配当総額	217百万円	167百万円
一株当たり配当金	6.5円	5.0円
うち普通配当	5.5円	5.0円
うち記念配当	1.0円	—
配当性向	24.8%	22.3%

※22/03期の記念配当は、グループ設立30周年を記念しての配当金になります。

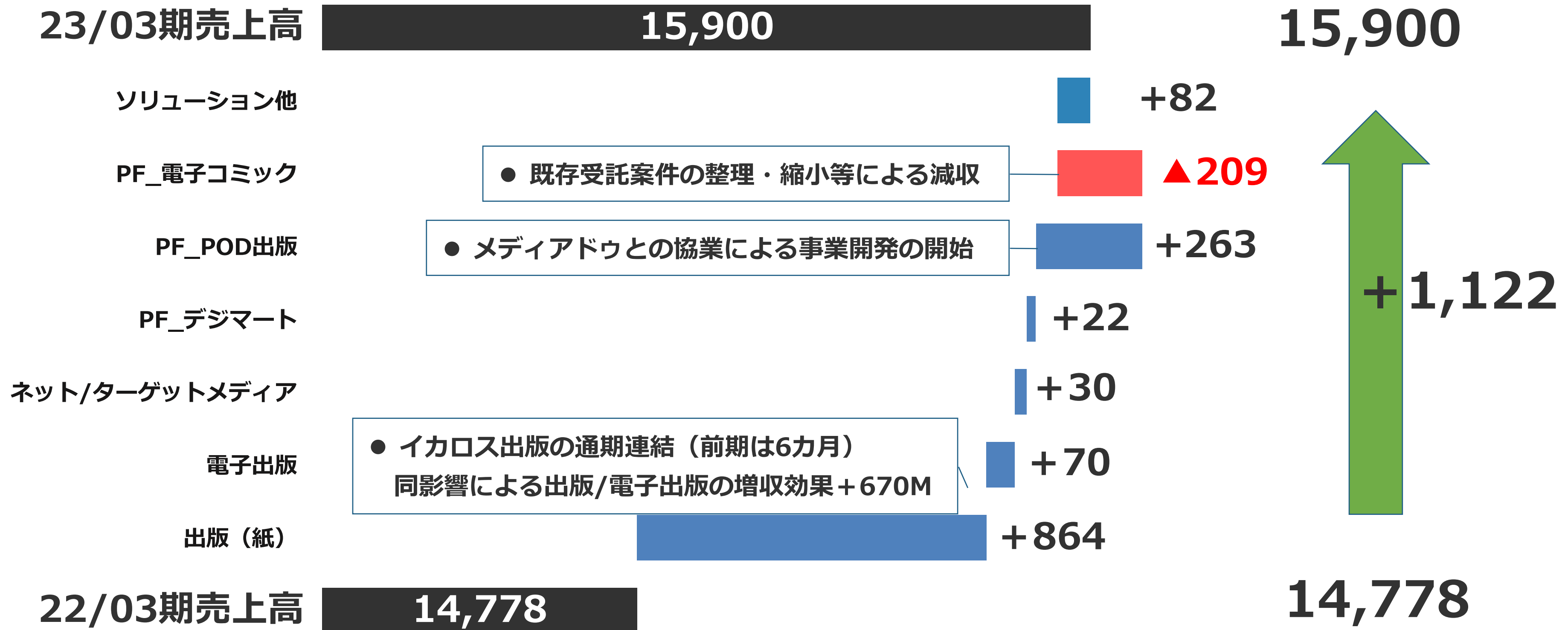
事業区分別売上の推移

単位：百万円



主要事業の売上推移（22/03期→23/03期）

単位：百万円



年度事業計画：定量ポイント

- ITセグメント：利益水準の維持と次期成長基盤の開発
- モバイルサービスセグメント：一定の利益水準の維持と構造転換の基盤の開発
- 音楽、山岳・自然セグメント：収益底上げ、次期成長基盤の開発
- デザイン、航空・鉄道セグメント：収益力改善（基盤強化）
- その他：POD出版PF事業の規模拡大
- 用紙・印刷等の原材料費高騰の影響の低減
- 既存事業は増収・増益基調を維持し、中期成長の開発投資を並行して推進

投資項目

●事業系DX投資：メディアミックスの事業開発を支える事業基盤の開発

- 顧客基盤 : ユーザー情報の一元管理による多面的なタッチポイントを創出
ユーザー規模の拡大とロイヤリティ向上を図る
- 分析基盤 : 顧客基盤との連動によるデータドリブンなマーケティングプロセスの実現
- その他基盤 : 決済サービス、広告配信等の共通基盤の整備、インフラのクラウドシフト
- 運用基盤 : デジタルマーケティングの人材強化、実践スキルのボトムアップ（育成）
グループのデジタル事業の運用をサポートする機能の強化

●新規事業モデル/プラットフォーム開発投資

- グループ横断の事業プラットフォームの構築・運用体制の整備 ⇒ 子会社「(株)IPGネットワーク」を新設
 - ✓ 出版事業基盤+デジタルを中心としたサービス事業基盤の構築・運用をミッションとした新会社
 - ✓ 出版事業基盤：売上/債権管理、マーケティング情報、購買/印税管理、ライセンス管理/開発
 - ✓ サービス事業基盤：オンデマンドTシャツ、Variable-POD印刷、ファンコミュニティ戦略を支える会員管理等
- メディアミックス展開、新規プラットフォーム事業の開発促進を目的とした外部との協業

(参考資料) 当社グループの概要

当社グループの「セグメント」と「事業」





専門書籍・雑誌



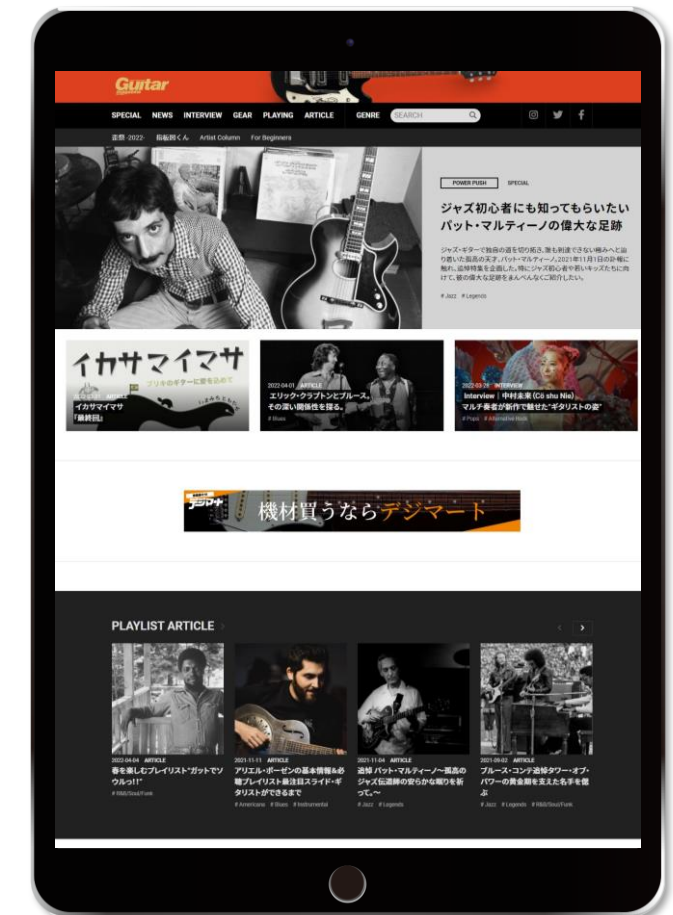
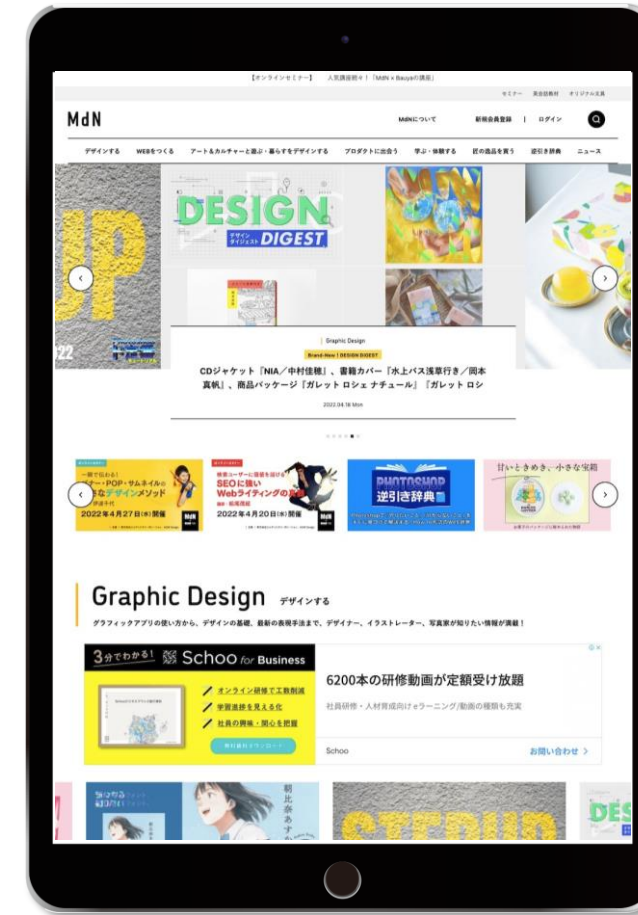
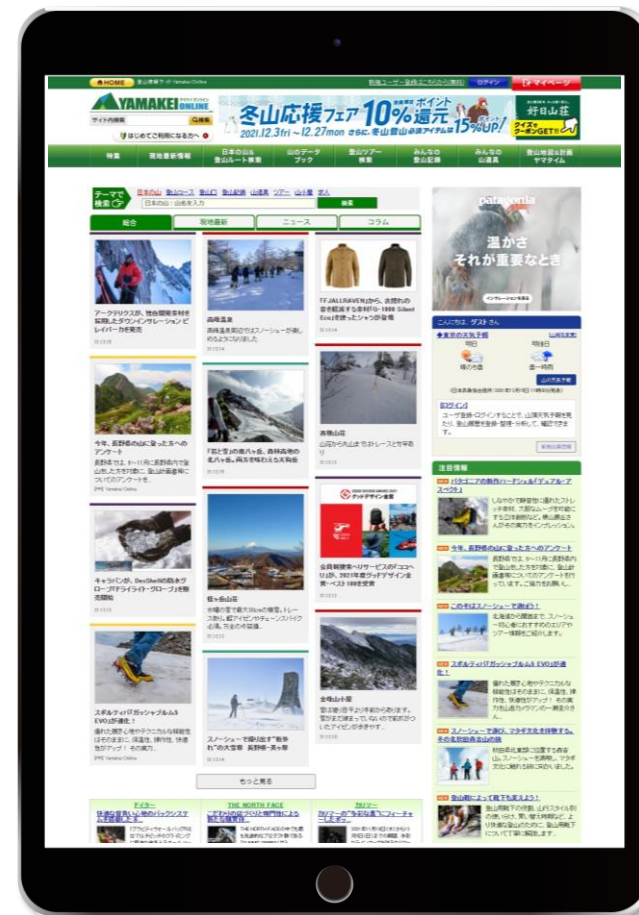
電子書籍



年賀状ムック
カレンダー

コンテンツ事業 [メディア&サービス事業]

ネットメディア・サービス



デジタル総合
ニュース

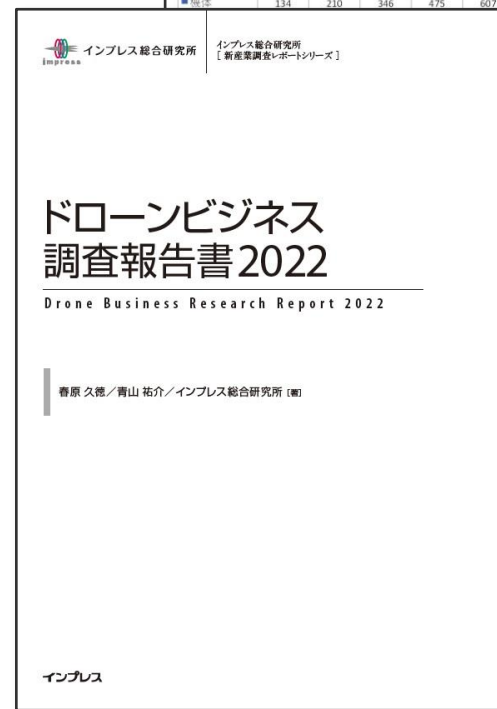
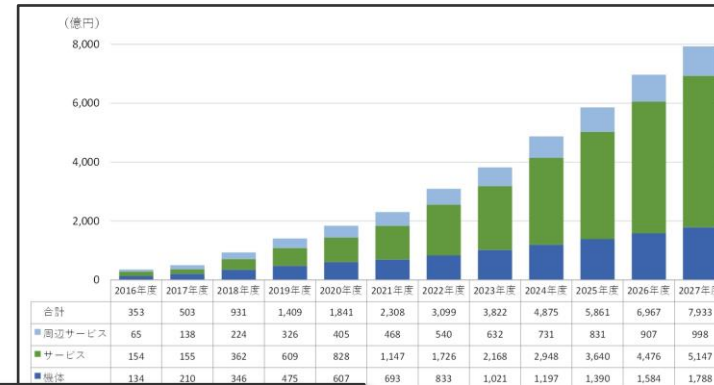
登山

デザイン

音楽



IT Leaders



サービスの3つで構成される。ポート型、潜水型)の完成品機体の国内での販売金額。軍用。ただし、ソリューションの一部のみドローンが活用体が自社所有のドローンを活用する場合は、外部企業に委託。期メンテナンス費用、人材育成や任意保険等の市場規模。

出所：インプレス総合研究所作成



ビジネスメディア

調査報告書

イベント・セミナー

コンテンツ事業 [ソリューション事業]



※天夢人が事務局の運営を受託

企業・自治体等のSP・PRツール、Webサイト受託制作

プラットフォーム事業



EC
プラットフォーム



電子コミック
プラットフォーム



出版流通
プラットフォーム

※21年8月に子会社化したイカロス出版の概要

■特徴

月刊誌『エアライン』をはじめとする航空関連を軸に 40 年の歴史を持ち、陸海空、旅行、防災の各分野で専門性の高いコンテンツを提供している出版社

■株式取得の理由

- コアなファンを有する競争力の高い専門コンテンツ分野の拡大
- イカロス出版の企画編集力に当社グループ内のリソースを効果的に活用したメディアミックス展開により、ファンコミュニティの構築、電子出版、Web サービスや法人向け事業等の開発で事業価値の向上を図る。

※21年8月に子会社化したイカロス出版の概要

■主な出版物

航空



ミリタリー



鉄道



防災その他



※22年4月に設立のPUBFUNの概要



■概要・設立の目的

- 当社子会社の株式会社インプレスR&Dが手がけ、個人向けシェアを持つ「ネクパブ・オーサーズプレス」と、株式会社メディアドゥが手がけ、法人向けシェアを持つ「PUBRID」の両PODサービス事業を統合し、2022年4月に設立した合併会社。
- 合併によりPOD出版において圧倒的なトップシェアを獲得。両者の強みを生かし、新しい著者の開拓や出版ニーズへの柔軟な対応などを通じて、POD市場の拡大を推進していく。

■サービスの特徴



個人・団体向けの出版支援サービス。所定の形式の原稿ファイルを用意することで、どなたでも基本無料で紙書籍や電子書籍を出版、Amazon.co.jpで販売することが特徴。



出版社・法人向けのPODサービス。書店PODとオンデマンド印刷の組み合わせにより、絶版や在庫僅少本の復刻やPODオリジナル作品の出版など新しい出版のカタチを実現する。